

コンクリート構造物補修用工ポキシ樹脂モルタル



# ボンドPモルタル

Pモルタルは、揮発性に富む工ポキシ樹脂（ボンド E208）と特殊配合されたPモルタル専用骨材を調合した、補修用工ポキシ樹脂モルタルです。エポキシ樹脂の粘性や骨材の配合を工夫し、天井面・垂直面に使用時のダレを無くしたこと、施工性が向上しました。露筋、コンクリート構造物の欠損部などの補修に、優れた効果を発揮します。

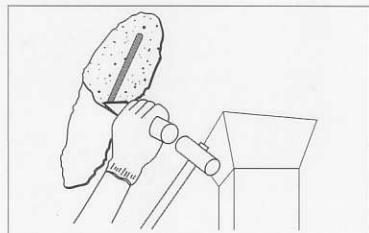
**■用途** コンクリート構造物の欠損・露筋補修用充てん材  
コンクリートの表面保護・補強材

**■特長** 作業性：コテさばきが良く、美しい面に仕上がります。  
ノンサグ形：垂直面・天井面でもダレがありません。（20mm厚）  
耐久性：耐久性、耐候性が良好で非透水性ですので、凍結融解安定性に優れます。  
接着性：エポキシ樹脂系プライマーを使用するため、下地への接着性に優れます。

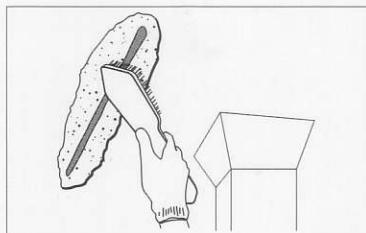
項目	主剤(E208)	硬化剤(E208)	骨材(Pモルタル骨材)
主成分	エポキシ樹脂	ポリアミドアミン	珪砂・特殊骨材
外観	乳白色マヨネーズ状	茶褐色マヨネーズ状	砂状粉体
混合比	主剤：硬化剤：骨材 = 2:1:9 (質量比)		
可使時間	S型：80±10分, W型：25±10分 (20°C, 500g)		

※数値は規格値ではありません。

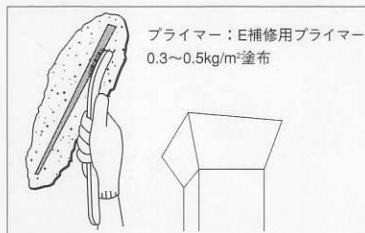
**■施工方法**



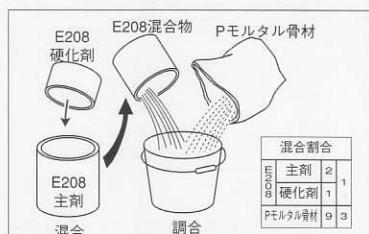
①-a 下地処理—脆弱部をはり取り取る



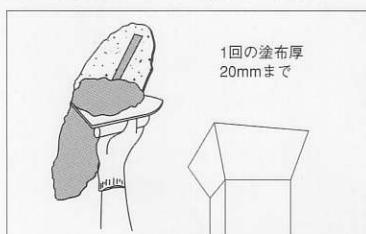
①-b 下地処理—ケレン後充分に清掃する



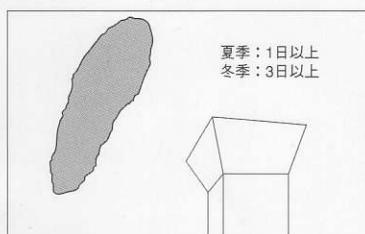
プライマー：E補修用プライマー  
0.3～0.5kg/m<sup>2</sup>塗布



③ Pモルタルの調合



④ Pモルタルの施工



⑤ 養生

- まずE208の主剤と硬化剤を2:1(質量比)の混合比で計量し、充分に混合搅拌します。次に、混合搅拌したE208とPモルタル骨材を1:3(質量比)で計量し充分に混練し、使用してください。
- 一度に混合する量は、可使時間以内に使いきれる量にしてください。
- 器具類に付着したものは、硬化する前に有機溶剤でふき取ってください。
- 施工後24時間以上の養生が必要です。養生にあたっては、過度の振動、衝撃、水分などを与えないように注意してください。
- 低温時は硬化が著しく遅れます。原則として5°C以上の環境で使用してください。

## ■技術データ

## 1. Pモルタル硬化物の性能規格（社内規格値）

試験項目	規格値	試験方法
比重	1.60±0.10	JIS K 7112-1980
圧縮降伏強さ(N/mm <sup>2</sup> )	35.0以上	JIS A 1108-1993
圧縮弾性率(N/mm <sup>2</sup> )	3.00×10 <sup>3</sup> 以上	JIS A 1108-1993
曲げ強さ(N/mm <sup>2</sup> )	15.0以上	JIS R 5201-1997
透水試験(g)	0.50以下	JIS A 1404-1994

※養生：20±1°C、7日間 透水条件：0.3MPa、1時間

## 2. Pモルタル硬化物の経日強さ（測定値例：夏用）

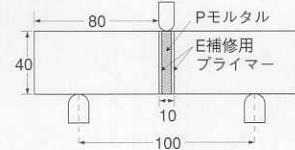
試験項目	経日(20±1°C)				試験方法
	1日	3日	7日	14日	
圧縮降伏強さ(N/mm <sup>2</sup> )	13.2	35.3	47.7	50.0	JIS A 1108-1993
曲げ強さ(N/mm <sup>2</sup> )	12.0	17.5	17.6	18.3	JIS R 5201-1997

## 3. Pモルタル硬化物の曲げ接着強さ（測定値例：夏用）

試験項目	経日(20±1°C)			試験方法
	1日	3日	7日	
曲げ接着強さ(N/mm <sup>2</sup> )	4.6 (M100)	5.2 (M100)	6.7 (M100)	JIS R 5201-1997

※M100：モルタル材破100%

右図のようにモルタル面にE補修用プライマーを塗布し、10mmの間隙にPモルタルを充てんし、養生後、三点集中荷重でモルタル曲げ接着強さを求めた。



## ■標準施工量

- 1m<sup>2</sup>当たり16kg(10mm厚の場合)
  - 1セット当たり0.75m<sup>2</sup>(10mm厚の場合)
  - Pモルタル1セットは12kg[約7.5L]：(樹脂)E208：3kgセット+(骨材)Pモルタル骨材：9kg
- ※E208とPモルタル骨材は別梱包 E208：3kgセット…4セット／1ケース  
Pモルタル骨材：9kg／1ケース

## ■警告

健康に有害な物質を含有しています。かぶれやすい物質です。

**注意事項：**本品は皮フに付着したり蒸気を吸入すると、かぶれ、中毒やその他の健康障害を起こす恐れがあります。下記の注意事項を守って取り扱ってください。

●作業場所は充分に換気する。●取り扱い中は皮フにふれないように注意し、必要に応じて有機ガス用防毒マスク、または送気マスク、保護手袋、保護メガネなどを着用する。●容器からこぼれた場合には、砂を散布したのち処理する。●取り扱い後は、手洗いおよびうがいを充分に行う。●作業衣などに付着した場合には、すみやかにその汚れをよく落とす。●皮フに付着した場合にはすみやかにふき取り、石ケンと水でよく洗い落とす。痛みや外観に変化がある場合には医師の診察を受ける。●蒸気やガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にする。必要に応じて医師の診察を受ける。●眼に入った場合には多量の水で洗い、必要に応じて医師の診察を受ける。●温度が40°C以下の場所を定めて保管する。また、使用後は密封する。●指定された以外の材料と混合しない。●温度が5°C以下になると、極端に硬化が遅くなる。

※使用にあたっては、製品安全データシート(MSDS)をお読みください。

※本品は改良のため性状、性能を変更する場合があります。予めご了承くださいますようお願いいたします。(記載の性状等は2004年4月現在のものです。不明の点はお問い合わせ願います。)

国際単位系(SI)による数値の換算は、1kgf=9.8N、1cP=1mPa·s、1kgf·cm=9.8×10<sup>-2</sup>J、1MPa=1N/mm<sup>2</sup>です。1N/mm<sup>2</sup>は約10.2kgf/cm<sup>2</sup>に相当します。

本資料の技術情報、標準処方例は当社の試験、研究に基づいたもので、信頼しうるものと考えますが、記載の諸性能および諸特性などは、材料や使用条件などにより本資料と異なる結果を生ずることがあります。実際の諸性能、諸特性などについては、ご需要家各位で試験、研究ならびに検討の上、ご使用いただきますようお願いいたします。

**コニシ株式会社** ボンド事業本部

本 部／大阪市中央区平野町2-1-2(沢の鶴ビル) TEL541-0046 TEL06(6228)2961 FAX06(6228)2927  
東京支店／東京都千代田区神田錦町2-3(竹橋スクエア) TEL01-0054 TEL03(5259)5737 FAX03(5259)2144

名古屋支店 TEL052(262) 8173 FAX052(262) 8175  
福岡支店 TEL092(551) 1764 FAX092(551) 1545  
札幌支店 TEL011(612) 0211 FAX011(612) 0219

仙台営業所 TEL022(211) 5031 FAX022(211) 4990  
北関東営業所 TEL027(324) 3002 FAX027(324) 1187  
厚木営業所 TEL046(229) 9610 FAX046(229) 9636

金沢営業所 TEL076(223) 1565 FAX076(223) 4794  
広島営業所 TEL082(507) 1911 FAX082(507) 6676  
高松営業所 TEL087(835) 2020 FAX087(835) 4623

EテG15-06

**R100**  
古紙配合率100%再生紙を使用しています。

**Pモルタル** 1996. 5.10000(O)25-FD  
2002.11.10000(T)20-FD  
2004. 4.10000(T)20-FD